

はしがき

本報告書は、当研究所が令和2～4年度外務省外交・安全保障調査研究事業（発展型総合事業）「国際秩序の転換期における日本の秩序形成戦略—台頭する中国と日米欧の新たな協調」のサブ・プロジェクトの一つとして実施してきた研究プロジェクト「『新時代』中国の動勢と国際秩序の変容」における研究成果をとりまとめたものです。

2022年は、ロシアによるウクライナ侵略が勃発したことに連動し、台湾海峡をめぐる緊張感が高まり、国際社会は更なる危機に直面しました。アジア太平洋の安全保障環境や国際秩序の変容に大きな影響を与え得る中国については、習近平が3期目入りを果たし、習近平一強体制とも言える中国の今後の動向に大きな注目が集まっています。そのようななかで、中国の内政状況や外交政策を正確に理解し、国内及び国際的な要因が各種意思決定にどのような影響を与えているのかについての調査及び分析がより一層重要となっています。

本プロジェクトでは、今日の中国の内政状況や外交政策、国際関係等の多側面から習近平政権の実態に迫り、得られた知見に基づいて今後を展望しようと取り組んで参りました。ここに収められた各論文は、3か年プロジェクトの最終年度の研究成果です。

ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。この研究成果がわが国の外交実践に多く寄与することを心より期待します。本報告書に対する忌憚なきご意見、ご批判をいただければ幸いです。

最後に、本研究に積極的に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた高原明生主査及び研究会委員各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し改めて深甚なる謝意を表します。

令和5年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐々江 賢一郎

あとがき

本書は、日本国際問題研究所の研究プロジェクト「『新時代』中国の動勢と国際秩序の変容」（主査：高原明生東京大学教授）の研究成果として執筆されました。

2022年秋に、第3期習近平政権が発足しました。10年以上にわたって、研究者たちは習近平の急速な権力集中、中国の活発な対外進出、そして中国社会の急速な変化に驚かされ続けてきました。国際社会における中国の存在感が高まり続けるなか、その統治は依然として不透明で、理解しにくいものです。米中関係の悪化をはじめ、中国をめぐる国際関係も緊張が高まり続けています。私たちは、今日の中国を理解するには、「習近平政権」が鍵となると考え、習近平の個性や習近平政権の特徴に着目し、内政と国際関係の双方について、さまざまな視点からその実態を明らかにするといういささか野心的な目標を掲げました。高原明生先生を主査として、中国の政治や中国をめぐる国際関係に詳しい日本を代表する研究者にプロジェクトメンバーとしてご参加いただくことができました。内政では、エリート政治から党政関係、ガバナンス、国民統合、経済、国際関係では、戦略文化から米中関係、中国朝鮮半島関係、中国のアジア外交、グローバル・イシューなど、実に多様な側面から習近平政権の実像に迫ることができました。

本プロジェクトが発足した2020年春は、まさに新型コロナウイルスが出現したタイミングであり、市民の社会生活も大きな影響を受けました。私たちの研究会でも、3年にわたる研究期間において、ほとんどの研究会合をオンラインで行わざるを得ず、本来予定していた中国現地での資料調査や研究交流も実施することができませんでした。その意味で、本書の研究成果は、そうした大きな制約の下で執筆されたものです。しかし、オンラインでの学術交流や意見交換、資料収集などを最大限利用し、実に多くの知見が提示されています。本書は現代中国と習近平政権を理解する上で、重要な成果になっており、広く参照していただきたいと願っています。

本プロジェクトでは、本書の執筆者となっているプロジェクトメンバー以外にも、外部講師をお招きして、研究会を開催しました。講師を務めてくださった細川美穂子様（みずほ銀行）、吉岡桂子様（朝日新聞社）、垂秀夫様（日本国駐中国大使）に、改めて深く感謝いたします。研究会の運営は、中山玲子さん、石塚陽子さん、横地真子さんから研究助手の方々がご担当くださいました。皆様のお力添えのおかげで、無事に研究会活動を終了し、本書の刊行を実現することができました。深く感謝いたします。

2023年3月 李昊・飯嶋佑美

研究体制

『『新時代』中国の動勢と国際秩序の変容』研究会

主査：	高原 明生	東京大学教授／日本国際問題研究所上席客員研究員
顧問：	高木誠一郎	日本国際問題研究所研究顧問
委員：	青山 瑠妙	早稲田大学教授
	伊藤 亜聖	東京大学社会科学研究所比較現代経済部門准教授
	熊倉 潤	法政大学法学部准教授
	倉田 秀也	防衛大学校教授／日本国際問題研究所客員研究員
	津上 俊哉	津上工作室代表／日本国際問題研究所客員研究員
	内藤 寛子	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員
	舟津奈緒子	日本国際問題研究所研究員
	松田 康博	東京大学東洋文化研究所教授
	李 昊	神戸大学大学院国際文化学研究科講師／ 日本国際問題研究所研究員

(敬称略、五十音順)

委員兼幹事：	市川とみ子	日本国際問題研究所所長
	尾崎壮太郎	日本国際問題研究所研究調整部長
	飯嶋 佑美	日本国際問題研究所研究員
	中山 玲子	日本国際問題研究所研究助手
	横地 真子	日本国際問題研究所研究助手

習近平政権研究

発行：2023年3月31日

編者：(公財)日本国際問題研究所

公益財団法人 日本国際問題研究所

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビル3階

TEL：03-3503-7261 (代表) FAX：03-3503-7292

URL：<https://www.jiia.or.jp>

ISBN978-4-8193-0033-9

写真：ロイター / アフロ